

広島県鉄構工業会

「団結で困難を乗り越える」

新年互例会に約60人が出席



山本理事長

広島県鉄構工業会（理事長 山本泰徳・ステントス社長）は1月23日、広島市南区のホテルグランヴィア広島で新年互例会を開催。組合員のほか、広島県土木

建築局の川島満・建築技術担当部長や日本建築学会中国支部の杉田洋支部長（広島工業大学教授）、日本建築構造技術者協会中国支部の村瀬忠之支部長（建築構造支援研究所代表）、松尾彰・広島大学名誉教授、田川浩・広島大学大学院教授、カナイ建築構造事務所の近松英樹氏、組合顧問弁護士

の久保豊年氏ら来賓に加え、冒頭のあいさつで山本理事長は「構造設計者とファブが相互に意見を交わし、一体となって日本の建築を守っていきたい。今年も一致団結し、困難な状況を乗り越えていこう」とし、続いて川島担当部長が建設分野での労働環境の改善

構造設計者など約60人が出席し、互いに新年の門出を祝った。

やDX化、BIM活用について説明、「持続可能な建設業に向けて人材確保や生



組合員ら約60人で新年の門出を祝う

産性向上に取り組んでいく」と述べた。その後、松尾名誉教授の乾杯発声で祝宴に入った。